



手子林公民館 令和5年度の新刊

第169回 直木賞

『極楽征夷大將軍』 垣根 涼介 著

混迷する時代に、かれのような意志を欠いた人間が、何度も失脚の窮地に立たされながらも権力の頂点へと登り詰められたのはなぜか？

幕府の祖でありながら、謎に包まれた初代将軍・足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。

『木挽町のあだ討ち』 永井 紗耶子 著

疑う隙なんぞありはしない、あれは立派な仇討ちでしたよ。芝居町の語り草となった大事件、その真相は……。現代人の心を揺さぶり勇気づける令和の革命的傑作誕生！

第169回 芥川賞

『ハンチバック』 市川 沙央 著

井沢釈華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲している。

両親が遺したグループホームの十畳の自室から釈華は、あらゆる言葉を送り出す……。

圧倒的迫力&ユーモアで選考会に衝撃を与えた、第128回文学界新人賞受賞作。

新刊情報

親子向け 絵本

『大ピンチずかん』 鈴木 のりたけ 著・文

もういつピンチが来ても大丈夫だ！ この図鑑で、子どもが出会う大ピンチを知れば、いつ大ピンチになってもこわくない。

鋭くもあたたかい観察眼と、思わず吹き出すユーモアにあふれた一冊。

話題の本

『クスノキの番人』 東野 圭吾 著 ~明日に希望をもてるように、と思いながら書きました。

恩人の命令は、思いがけないものだった。オリコン文庫ランキング2023年上半期 第1位！

不当な解雇で腹いせに罪を犯して逮捕、そこへ弁護士が現れ、依頼人に従うなら釈放すると提案があった。依頼人の女性が命令する。「あなたにしてもらいたいこと、それはクスノキの番人です」と……。

『あなたが誰かを殺した』 東野 圭吾 著

★★★ミステリ、ど真ん中。★★★最初から最後までずっと「面白い！」至高のミステリー体験。

閑静な別荘地で起きた連続殺人事件。愛する家族が奪われたのは偶然か、必然か。

私たちを待ち受けていたのは、想像もしない運命だった。

『続 窓ぎわのトットちゃん』 黒柳 徹子 著 (42年ぶりの続編です)

「きみは、本当は、いい子なんだよ」、深い愛情で子どもたちの個性を伸ばしていった校長先生が、トットちゃんに言い続けた言葉は、今も黒柳徹子さんの宝物です。

トットちゃんがユニークな教育のトモ工学園で、友達とのびのび成長していく自伝的物語。

新刊情報

『青瓜不動 三島屋変調百物語九之続』 宮部 みゆき 著 ~これが最後だ、二度と描かない。

行く当てのない女達のため土から生まれた不動明王。悲劇に見舞われた少女の執念が生んだ家族を守る人形。描きたいものを自在に描ける不思議な筆。そして、人ならざる者たちの里で育った者が語る物語。

恐ろしくも暖かい百物語に心を動かされ、富次郎は決意を固める――。